

平成25年度（通期） 指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課： 都市活力 部 都市企画 室 文化振興 課

1. 基本情報

1002

施設名	伊丹市立音楽ホール（伊丹アイフォニックホール）		
施設の設置目的	音楽を中心とした文化事業の振興を図り、文化の発展に資する。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標： にぎわいと活力にあふれるまち 施策目標： 個性とにぎわいあるまちづくり 主要施策： 芸術文化のまちづくり		
指定管理者の名称	公益財団法人 伊丹市文化振興財団 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号伊丹市立文化会館(いたみホール)内		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 21 年 4 月 1 日 ~ 平成 26 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営を行う上での指定管理者の具体的目標)	指標名	来館者数 (単位: 人)	
	指標の意味	年間の施設来館者数	
	今年度の目標値	120,000	今年度の実績値 113,202

2. 利用状況

利用状況等の推移	H17	H21	H22	H23	H24	H25 (上期)	H25 (通期)
	来館者数(人)	121,875	128,368	119,816	115,655	113,778	50,873
貸し室稼働率(%)	60	69	68	68	67	64	71
延べ事業開催回数(回)	22	114	148	156	155	71	164
延べ事業参加者数(人)	4,353	10,926	35,315	10,516	9,807	5,146	11,752

H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 管理経費等

平成25年度 指定管理者の 収支状況 <単位:千円>	計画（通期）		実績（通期）	
	<収入の部>		<収入の部>	
	指定管理委託料	69,357	指定管理委託料	69,357
	事業収入(公演収入等)	11,393	事業収入(公演収入等)	14,014
	利用料金	23,130	利用料金	22,912
	合計	103,880	その他助成金	3,800
	合計	103,880	合計	110,083
	<支出の部>		<支出の部>	
	人件費	29,301	人件費	29,780
	維持管理経費	45,297	維持管理経費	47,204
事業等経費	29,282	事業等経費	31,640	
合計	103,880	合計	108,624	
<収支差>		<収支差>		
収入合計 - 支出合計	0	収入合計 - 支出合計	1,459	

施設の管理運営に係る実質経費 (市の負担) <単位:千円>	H21	H22	H23	H24	H25	H26
	市の収入	1,076	1,776	4,298	4,287	2,967
(内、使用料収入)	0	0	0	0	0	-
市の支出	71,996	95,772	75,508	71,292	73,878	-
(内、指定管理委託料)	67,242	64,742	61,159	64,457	69,357	-
実質経費(歳出-歳入)	70,920	93,996	71,210	67,005	70,911	-

施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的 to 実施し、常に清潔に保たれているか。	A	委託業者の作業及び報告書を確認し適宜修繕を行っている。ホール的美観に配慮し、敷地内の樹木の生育にも力を注ぐ。館内の電燈は一部常時消灯している。	A	仕様書等に基づき、適正に業務が実施されている。節電等についても社会事情や環境に配慮し、実施されている。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B			
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B			
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B			
	環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	A	A			
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	外部での研修にも参加するほか、館内でも接遇や設備管理の勉強会を適宜行っている。	B	仕様書等に基づき、適正に実施されている。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	A			
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B			
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	避難訓練は上下各期1回。年2回実施。	B	仕様書等に基づき、適正に実施されている。
		避難訓練を実施しているか。	B			
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	事業実施時に事業並びに施設管理に関するアンケートを行い、施設運営に反映している。	A	利用者の意見を取り入れながら事業運営を行っているが、アンケートの集約数を増加させる取り組みを考えていただきたい。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	A			
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B			
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B			
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	A	シティフィル等育成団体系事務局として日常的に市民と接し、その音楽活動を支援している。	B	仕様書等に基づき、適正に実施されている。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	A			
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	個人情報にかかる書類は鍵のかかるロッカーに保管。メールマガジンは安全なwebソフト使用。	B	様々な媒体を利用して、事業の情報提供や施設の知名度向上に取り組んでいるが、新たな手法を思案していただきたい。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B			
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A			
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	見直しを図りつつ、適切な執行を行っている。	B	収支計画に基づき適正に取り組まれている。
経理処理は、適切に行っているか。		B				

「評価」欄の記号の意味

「A」= 協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」= 協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」= 協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「-」= 当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	利用状況については、概ね近年と同水準で推移している。事業運営では、アンケートの結果を分析し、要望を取り入れた運営を心掛けており、概ね好評価を得ている。今後は開館から22年を経過し施設、設備の老朽化が進行していることから、その状況を的確に把握した修繕計画を作成し管理運営を行っていただきたい。
総合評価	
B	

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」= 管理運営が非常に優れていると認められる。

「A」= 管理運営が優れていると認められる。

「B」= 管理運営が適正であると認められる。

「C」= 管理運営が改善を要する水準である。

利用者満足度調査(アンケート)結果と対応 【実施期間】平成25年4月1日 ~ 平成26年3月31日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	・館内の清掃は行き届き、清潔に保たれていますか。・・・「たいへん満足」「満足」83%	
回答者数	・職員の接遇態度はいかがですか。・・・「たいへん満足」「満足」75%	
781	・施設を利用しての満足度はいかがですか。・・・「たいへん満足」「満足」・・・93%	
	・「ピアノの音が気になります。もっと良いピアノにしてください。」(女性46歳)「もう少し音の上質なピアノを購入してほしい。」(女性70歳)等	・ピアノ(スタインウェイ)のオーバーホールを行いました。

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置
特になし	